

おくやみ

経済同友会 終身幹事の 渡辺 滉氏のご逝去されました。 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

三和銀行(現三菱UFJ銀行)元頭取で、経済同友会では副代表幹事を務めた渡辺滉氏が、2021年6月8日、91歳で永眠されました。

渡辺さんは、経済同友会で中国委員会、教育委員会、環境・資源エネルギー委員会の委員長などを務め、1995年から1999年にかけて、副代表幹事として牛尾治朗代表幹事を支えられました。



渡辺 滉(わたなべ・ひろし)氏

経済同友会歴

1988年1月 入会
1991年4月～1995年4月 幹事
1995年4月～1999年4月 副代表幹事
1999年4月～2021年6月 終身幹事

主な委員会活動等

1993年4月～1995年4月 中国委員会 委員長

1995年4月～1997年4月 教育委員会 委員長

提言『「学働遊合(がくどうゆうごう)」のすすめ いつでも学び・働き、その楽しさを実感できる社会を目指して、企業は意識を変え、行動する』発表。

1997年4月～1999年4月 環境・資源エネルギー委員会 委員長

提言『地球温暖化防止に向けたわれわれの決意』発表

渡辺滉さんを偲んで

茂木 友三郎 終身幹事(元副代表幹事)

渡辺滉さんと私は1995年度に経済同友会の副代表幹事に就任し、渡辺さんが1998年度をもって退任されるまで4年間、副代表幹事としてご一緒させていただきました。当時牛尾治朗さんが代表幹事の時代で、大変活発に議論が交わされ、毎月2回の理事会(現・正副代表幹事会)がとても楽しみでした。

渡辺さんは、中国委員会や教育委員会、環境・資源エネルギー委員会の委員長を務められるなど、幅広い分野で精力的に活動されました。

中国委員会では、中国が「社会主義市場経済」の確立を目指した改革の実施元年ともいえる1994年に、渡辺さんを団長とした訪中団が派遣されま



1994年訪中ミッションで榮毅仁国家副主席と会談する渡辺滉氏(左)

した。榮毅仁国家副主席や朱鎔基國務院副総理との会見も実現した大変意義深いミッションで、経済同友会と中国との交流の歴史に新たな1ページが刻まれました。

1997年には、教育委員会の委員長として提言『学働遊合のすすめ』をまとめられました。「人生18歳確定説・年齢輪切り主義」を見直し、いつでも学び、いつでも働ける社会をつくろうと呼び掛けるもので、これは現在にも通ずる考え方であるように思います。

また、環境・資源エネルギー委員会の委員長としては、1997年に『地球温暖化問題に対する5項目提言』を、1999年に提言『地球温暖化防止に向けたわれわれの決意』をまとめられました。まだ現在ほど環境問題への意識が高まっていない当時、地球温暖化問題に対して企業や行政がどのように行動していくべきか、それをどのように国民全体に波及させていくか具体策にまで踏み込んだものでした。

渡辺さんは、強いリーダーシップをお持ちであると同時に大変気さくなお人柄で、お酒を酌み交わしながら語り合うこともお好きでした。訪

中ミッションの際、現地で歓待を受け大いに盛り上がり、団長としてかなりお酒を召し上がった渡辺さんは、ホテルの部屋に戻るやいなやその場に倒れこんでしまい、やっとの思いで這うようにベッドにたどり着いたんだと笑いながら話されていました。団長としての使命感と親しみやすいお人柄を表す、渡辺さんらしいエピソードだと思いました。

渡辺さんは旧制第二東京市立中学校(現・東京都立上野高等学校)ご出身で、私にとって高校の五つ上の先輩にあたります。そのようなご縁から、高校の同期数人と一緒に渡辺さんを囲み、貴重なお話を伺う機会にも恵まれました。また、ある年の経済同友会夏季セミナーでは、参加者30人程度のうち高校の同窓生が4人(渡辺さん、伊藤助成さん、神林留雄さん、私)もそろうということがありました。高校時代を懐かしく思い出し、昔話に花が咲いたことを覚えています。渡辺さんは非常にざっくばらんな方で、先輩後輩の隔てがなく、いつも楽しくご一緒させていただきました。

ここにあらためて、ご生前のご厚誼とご厚情に御礼申し上げ、謹んで哀悼の意を表します。